

みんなで参加・分担するモニタリング

マハゼの棲み処調査

国総研・古川恵太

1

東京湾再生のための行動計画



全国
海の再生
プロジェクト

再生推進会議
(構成機関の局・部長等)

2003年からの
10年計画

『快適に水遊びができ、多くの生物が生息する、親しみやすく美しい「海」を取り戻し、首都圏にふさわしい「東京湾」を創出する。』

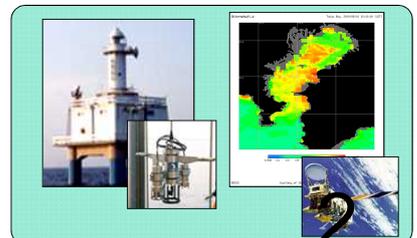
幹事会
(構成機関の課長等)

参加機関
内閣官房地域活性化統合事務局、国土交通省、海上保安庁、農林水産省、林野庁、水産庁、環境省、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

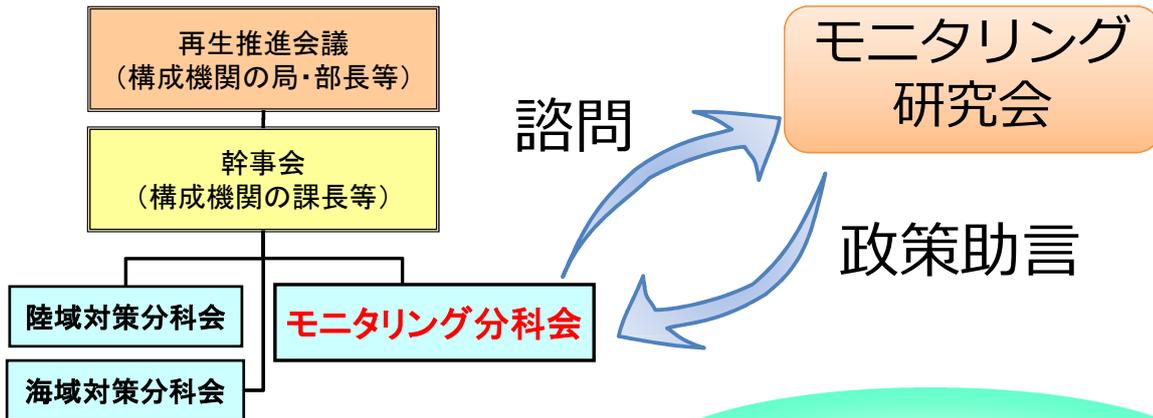
陸域対策分科会

海域対策分科会

モニタリング分科会



I 東京湾水質一斉調査



1.東京湾一斉調査

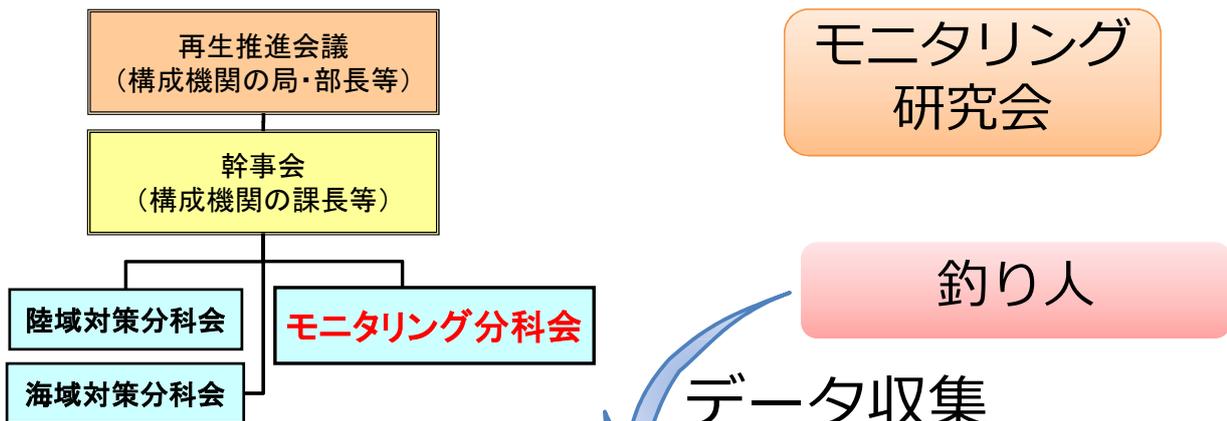
モニタリング調査の体制づくり

汚染メカニズムの理解の推進

東京湾再生への関心を醸成

3

II マハゼの棲み処調査



国・自治体

市民団体等

大学・研究所

企業



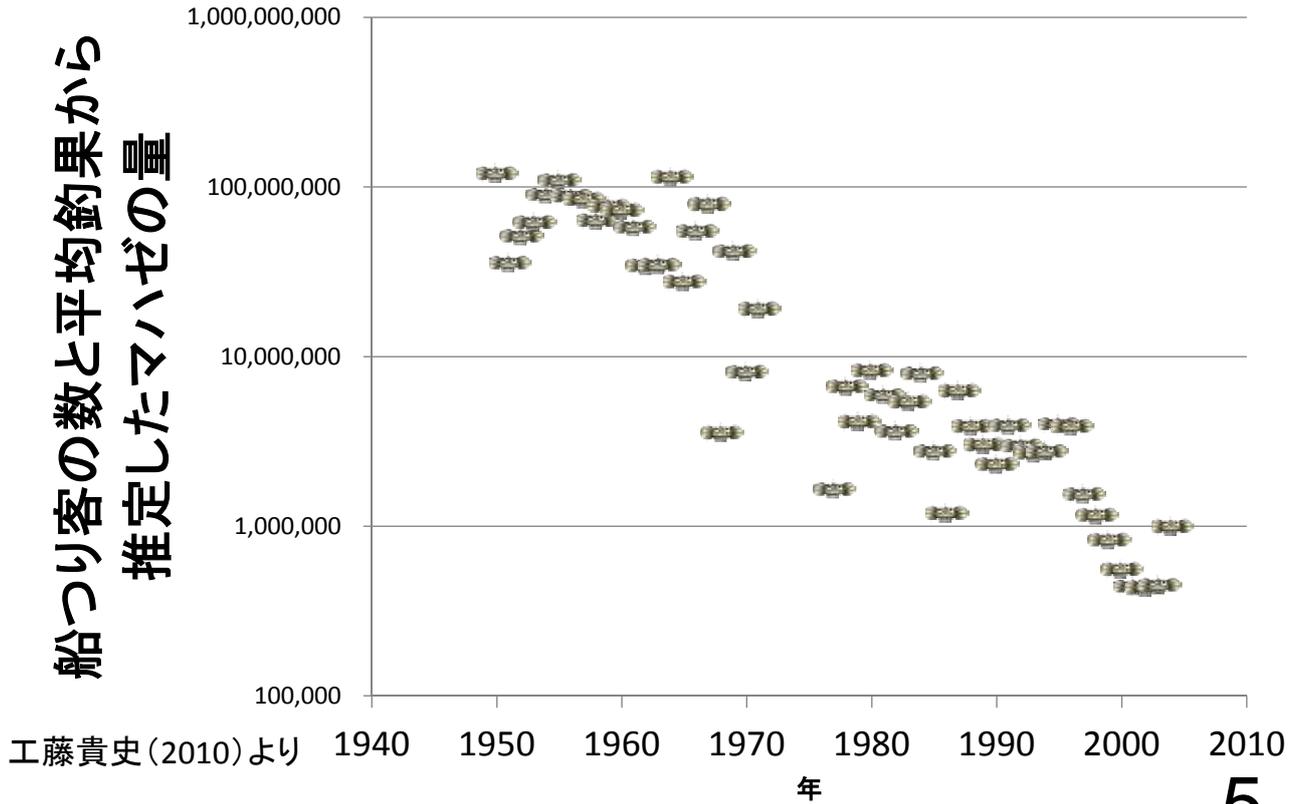
整理

中央水研

国総研

4

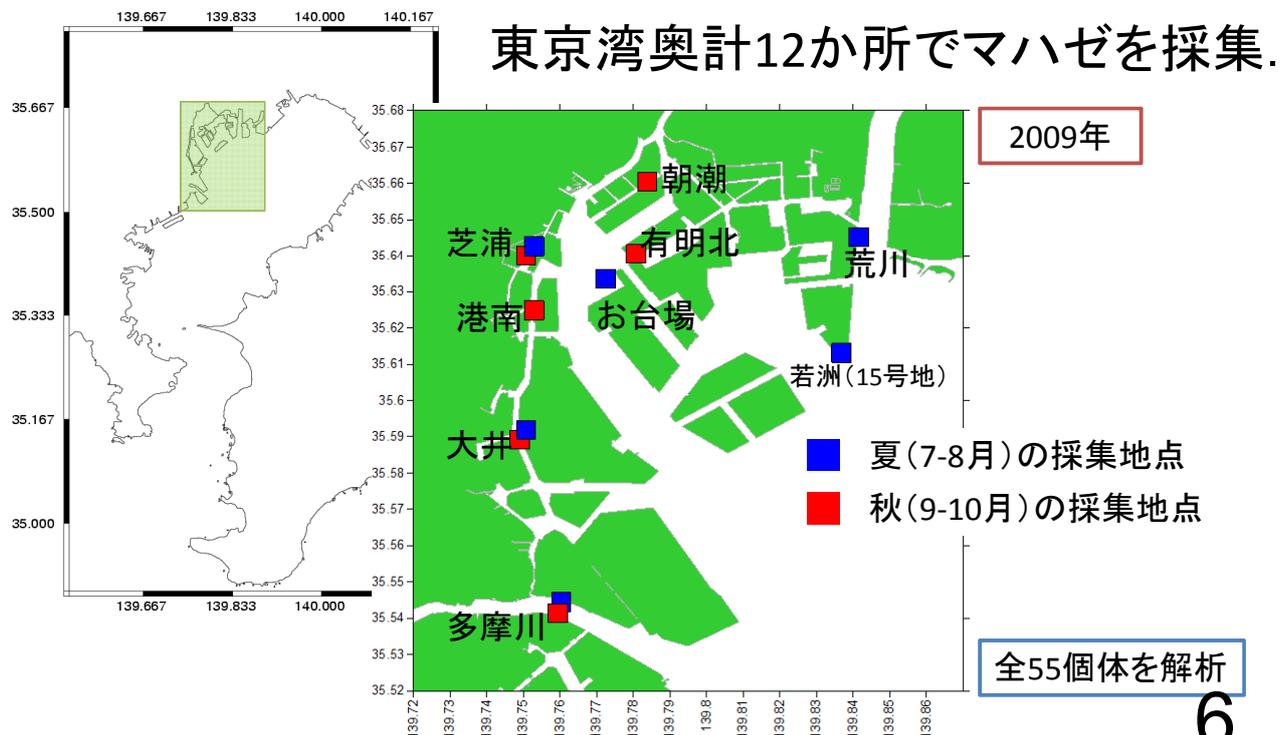
Ⅱ マハゼの棲み処調査



5

Ⅱ マハゼの棲み処調査

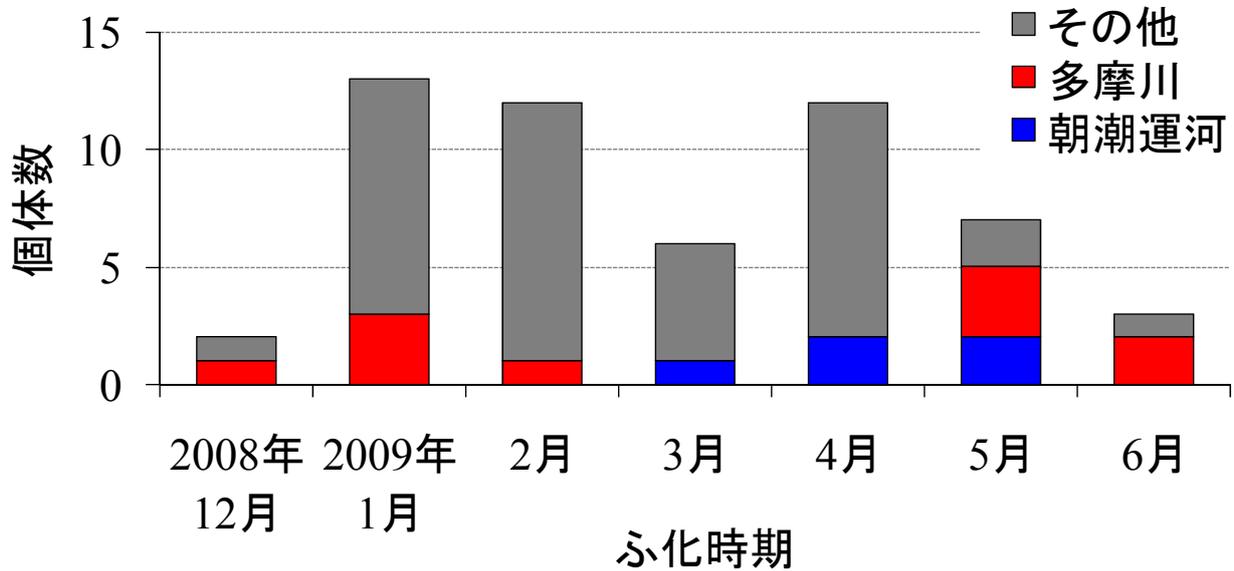
耳石解析によるふ化時期の推定〈採集日一輪紋数〉



6

Ⅱ マハゼの棲み処調査

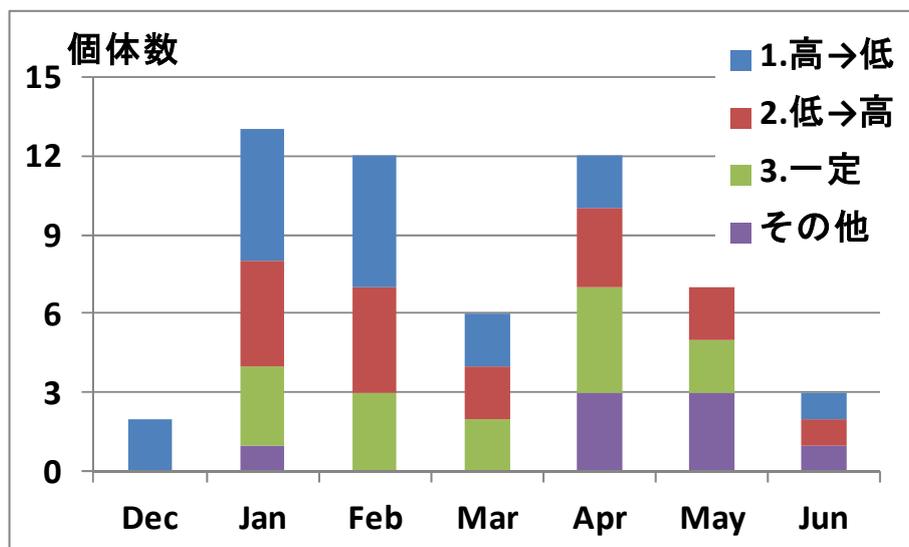
耳石解析によるふ化時期の推定〈採集日一輪紋数〉



7

Ⅱ マハゼの棲み処調査

耳石のSr/Caの変動パターン(目視)とふ化時期

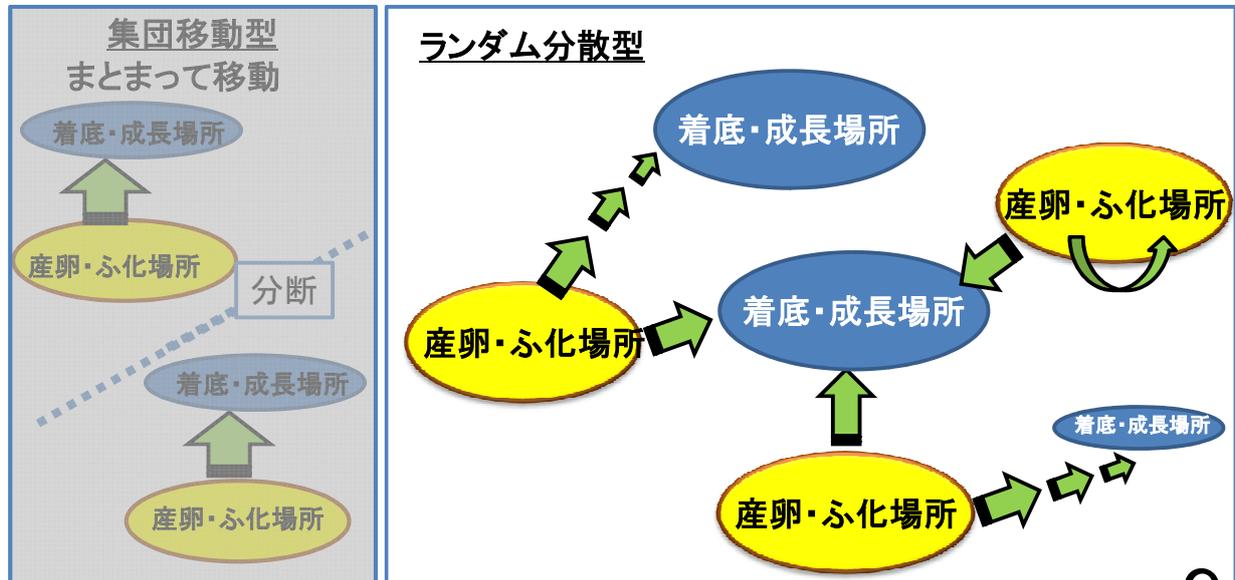


いずれのふ化時期でも、各種のパターンが混在
→ ふ化後に、様々な経路で移動している

8

Ⅱ マハゼの棲み処調査

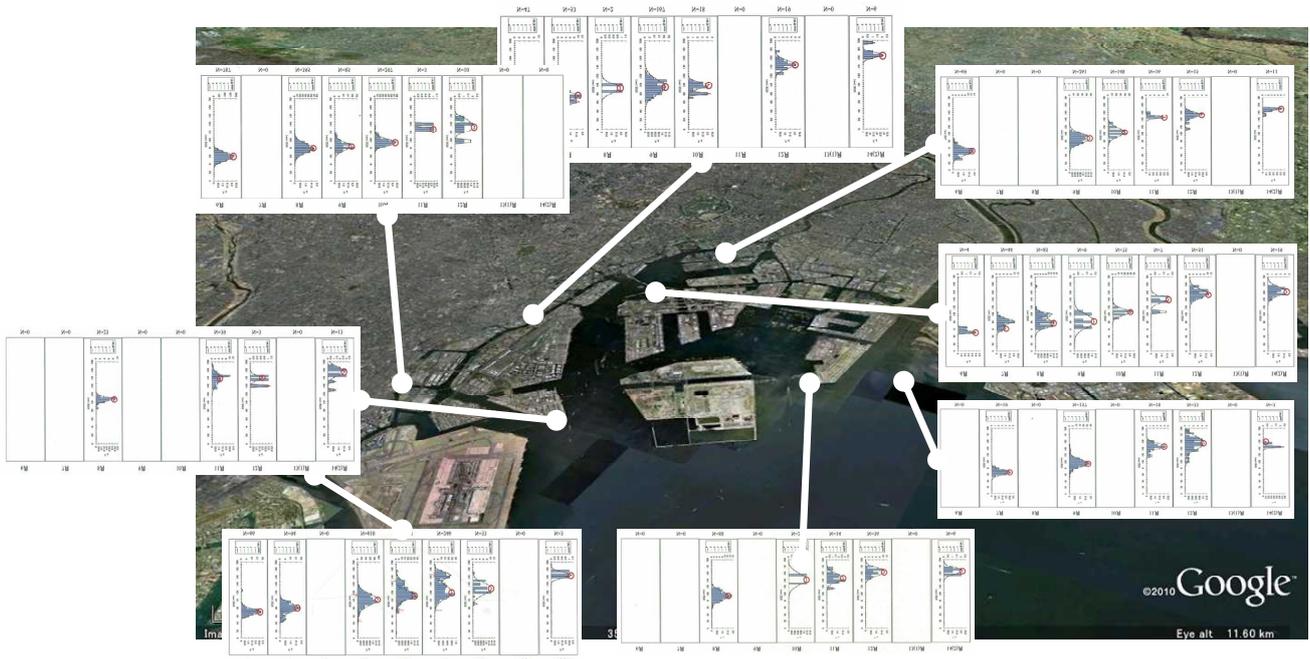
生活史特性(耳石のSr/Ca変動パターン)と遺伝的特性から、東京湾奥のマハゼは、時間的にも、空間的にもランダムな分散を持ち、移動・定着しているのではないか。



9

Ⅱ マハゼの棲み処調査

体長組成からみた棲み処のつながり



10

Ⅱ マハゼの棲み処調査

江戸前ハゼ
復活プロジェクト

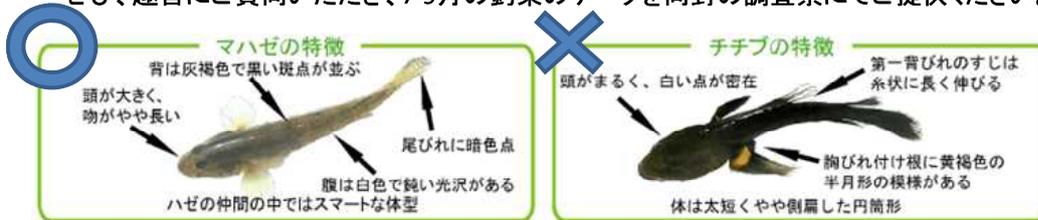
平成24年7月1日～9月30日

<http://www.meic.go.jp/mahaze>

マハゼの棲み処調査へのご協力をお願い

国土技術政策総合研究所では、東京湾水質一斉調査に連携して東京湾全域でのマハゼの棲み処調査を実施いたします。これは、マハゼの大きさや分布から東京湾の環境をモニタリングし、東京湾の環境を診断し、再生に向けた目標を立てるための調査です。

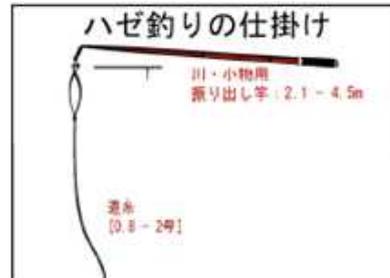
ぜひ、趣旨にご賛同いただき、7-9月の釣果のデータを同封の調査票にてご提供ください。



調査対象は、マハゼです。夏場は護岸前の「かけ上がり」の砂地にいることが多いと言われています。マハゼを目的とした釣りでも、チチブやウキゴリ、ピリンゴなどが東京湾ではよく釣れます。

餌は、ゴカイやエビなどを針にちょんがけます。しかけは、「天びん」や「中通し」が一般的です。

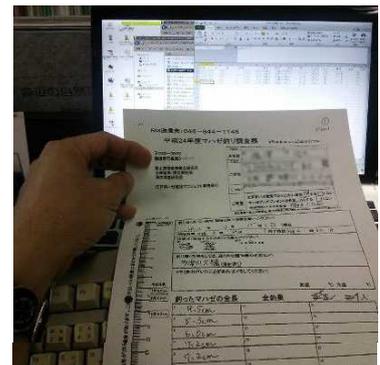
餌	大きいゴカイ	小さいゴカイ	食いの悪い時	食いの良い時
エ	✓	✓	✓	✓
ハ	✓	✓	✓	✓



11

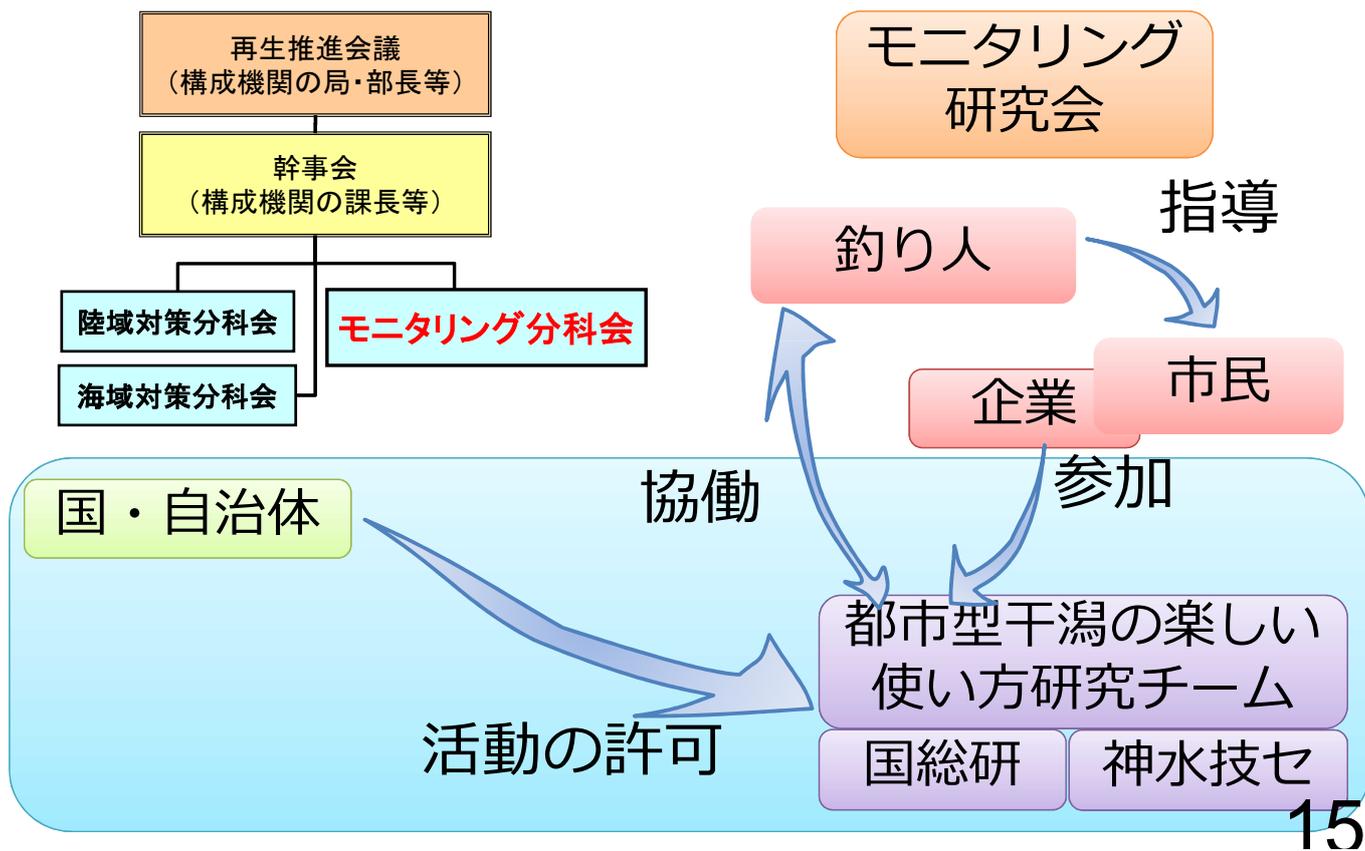
Ⅱ マハゼの棲み処調査

- 参加者: 延べ239名
- 調査地点: 137地点
- 収集データ:
 - 7月調査分: 1384尾
(内: 全長データ456尾 平均91 mm)
 - 8月調査分: 1966尾
(内: 全長データ1040尾 平均101 mm)
 - 9月調査分: 5292尾
(内: 全長データ1727尾 平均120 mm)



12

Ⅲ 生き物の棲み処さがし



Ⅲ 生き物の棲み処さがし

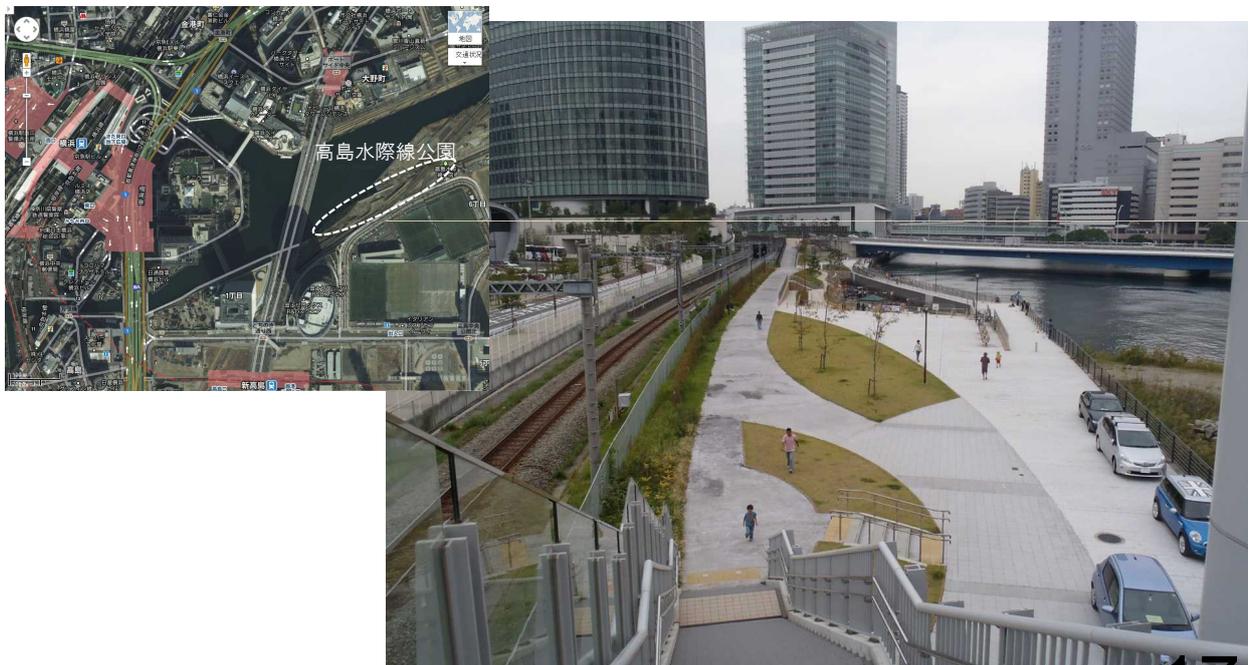
高島水際線公園での 生き物の棲み処さがし活動



都市型干潟の楽しい使い方研究チーム

Ⅲ 生き物の棲み処さがし

高島水際線公園



17

Ⅲ 生き物の棲み処さがし

公開調査(10月14日)

一般参加者:39名(内子供19名)
スタッフ:17名
取材3組:ケーブルシティ横浜
放映:11月7日(9:00~、12:00~、
17:00~、21:00~、23:00~)
「みなとみらいトウデイ」



ハマの海を想う会



第1回ハマハゼ杯

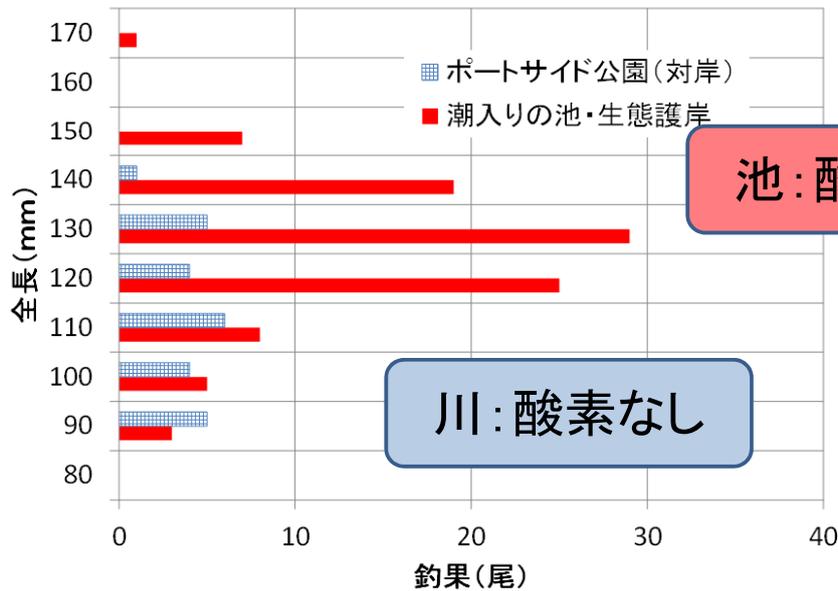


18

Ⅲ 生き物の棲み処さがし

公開調査結果

平成24年10月14日 高島水際線公園でのマハゼの全長分布



池：酸素あり

川：酸素なし

みんなで分担するモニタリング

